

科目分類	一般教養科目 科学の基礎	開講時期	1年	後期		
授業科目	社会学					
選択/必修	選択	単位数(時間数)	2単位	30時間	授業形態	講義
担当教員	塚本 利幸					
メールアドレス	tukamoto@fpu.ac.jp	オフィスアワー				

授業目的	<p>社会学の基本的なものの見方(パースペクティブ)や考え方を理解し、身に付けることを目指す。相対化と社会的な文脈への位置づけという社会学の視点・思考が、受講者の今後のそれぞれの現場における処し方に関して、触媒のような働きにつながることを目指したい。</p>
授業概要	<p>社会学の基本的な視座である相対化、社会的な文脈への位置づけについて理解することを通して、多角的・総合的にものごとを捉えることのできる視点の獲得を目指す。</p> <p>社会学的なもの見方、考え方の面白さを体感してもらうため、できるだけ具体的な事例を通して、社会学のキャッチフレーズの一つである「自明性を疑う」という作業を展開していきたい。「目から鱗が落ちる」という体験を通して、社会学的な思考のエッセンスを身に付けてもらえるような授業にした。</p>
授業内容	<p>第1回 社会学の視点1:相対化する</p> <p>第2回 社会学の視点2:社会的な文脈に位置づける</p> <p>第3回 社会学の誕生:近代化について</p> <p>第4回 古典期の社会学1:ヴェーバーと歴史の逆説</p> <p>第5回 古典期の社会学2:デュルケームと社会システム</p> <p>第6回 古典期の社会学3:ジンメルと関係性</p> <p>第7回 社会的なルールについて1:内容の恣意性</p> <p>第8回 社会的なルールについて2:存在することの必然性</p> <p>第9回 社会と個人の関係1:人間が社会を作る</p> <p>第10回 社会と個人の関係:自我の社会的な構成</p> <p>第11回 社会と個人の関係:社会を作り替える</p> <p>第12回 社会秩序の形成と維持(授業の成立を例に)</p> <p>第13回 社会統制と資源(授業の成立を例に)</p> <p>第14回 予言の自己成就(集団でいることの拘束力)</p> <p>第15回 まとめ</p>
教科書 参考書等	<p>使用しない(適宜プリントを配布します)</p>
成績評価 基準・方法	<p>出席状況・受講態度(50%)とレポート(50%)による。</p>
履修要件	<p>特になし</p>
留意事項 その他	<p>質問や意見は大歓迎ですが、私語は慎んでください。</p>